

## 三田市議会定例会(第376回)における補正予算案について

令和6年度6月補正予算案は一般会計補正予算案2件、三田市民病院事業会計補正予算案1件です。概要について下記のとおりお知らせします

### 記

#### 1 議案第51号 一般会計補正予算案(第1号)

- ・補正額 9億2,180万円
- ・事業概要 物価高騰対応重点支援給付金給付事業  
国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」における「重点支援地方交付金」を活用し、新たに令和6年度において①住民税非課税化の世帯並びに②住民税均等割のみの課税化の世帯への給付金、③当該世帯の18歳以下の子どもへの「子ども加算」、④所得税・住民税で定額減税しきれない方への給付金を支給するもの。

#### 2 議案第64号 一般会計補正予算案(第2号)

- ・補正額 1億5,511万円
- ・事業概要 (1) 自動運転バス実証調査事業 1億1,870万円  
JR 新三田駅を起終点とした循環ルートにおいて、自動運転バスの実証実験を行い、持続可能な市内バス路線ネットワークの構築を目指すもの。  
(2) 不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業 1,350万円  
国の「不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業」に選定されたことを受けて、AI 対話機能を活用した早期支援等の仕組みについて、研究と検証を行うもの。  
(3) その他带状疱疹ワクチン任意接種費助成事業など7事業 2,291万円

#### 3 議案第52号 三田市民病院事業会計補正予算案(第1号)

- ・補正額 2,060万円
- ・内容 三田市民病院での医療過誤に対する損害賠償金

【市長定例記者会見資料】  
令和6年5月27日  
健康福祉部  
地域福祉課（担当：宮城）  
直通：079-559-5069 内線：2540

**三田市議会6月定例会(第376回)に提案する補正予算案【ピックアップ事業①】  
物価高騰対応重点支援給付金給付事業について**

物価高により厳しい状況にある生活者支援として、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」における「重点支援地方交付金」を活用し、新たに令和6年度において①住民税非課税化の世帯並びに②住民税均等割のみの課税化の世帯への給付金及び③当該世帯の18歳以下の子どもへの「子ども加算」と、④所得税・住民税で定額減税しきれない人への給付金を支給します。

**1. 対象者**

**(1) 新たに住民税非課税となる世帯（住民税非課税化の世帯）**

2023（令和5）年度分は住民税非課税世帯等ではなかったものの、2024（令和6）年度分の個人住民税において、新たに個人住民税が非課税となった方のみで構成されることとなった世帯：〔1,000世帯（見込）〕

※基準日現在で条例により住民税均等割が減免の人、生活保護受給者を含む。

**(2) 新たに住民税均等割のみ課税となる世帯（住民税均等割のみ課税化の世帯）**

2023（令和5）年度分は住民税均等割のみ課税世帯等ではなかったものの、2024（令和6）年度分の個人住民税において、新たに住民税均等割のみが課税される方のみで構成されることとなった世帯：〔250世帯（見込）〕

**(3) 低所得者の子育て世帯（子ども加算）**

上記(1)(2)の世帯の18歳以下の児童：〔180名（見込）〕

**(4) 定額減税しきれないと見込まれる方（調整給付）**

定額減税の対象者で、定額減税可能額が減税前の税額を上回る（減税しきれない）と見込まれる方：〔所得税 12,000世帯・住民税 3,700世帯（見込み）〕

**【定額減税】**

- ・ 納税者及び配偶者を含めた扶養親族1人につき、令和6年分の所得税から3万円、令和6年度分の個人住民税所得割から1万円が減税
- ・ 合計所得金額1,805万円超の方は対象外

## 2. 給付額

- (1) 住民税非課税化の世帯：1世帯あたり10万円
- (2) 住民税均等割のみ課税化の世帯：1世帯あたり10万円
- (3) 上記(1)(2)の世帯の18歳以下の児童：1人あたり5万円
- (4) 調整給付：減税前の税額から定額減税しきれないと見込まれる方に、差額を1万円単位で支給

## 3. 手続等

対象となる可能性がある世帯へ8月上旬頃に支給要件確認書を送付。必要事項を確認、記入のうえ返送いただきます。確認書受領後、審査し本人届出口座へ随時振込みます。また、ファストパス（国の給付支援サービス）を活用し、オンライン申請にも対応することで、迅速な支給を図ります。

## 4. 予算額 ※6月議会補正予算

【事業費】	884,000千円	
〈積算〉(1) 1,000世帯(見込み)	× 100千円/世帯	= 100,000千円
(2) 250世帯(見込み)	× 100千円/世帯	= 25,000千円
(3) 180名(見込み)	× 50千円/人	= 9,000千円
(4) 所得税(3万円/人)が定額減税しきれない人	12,000世帯(見込み)	700,000千円
住民税(1万円/人)が定額減税しきれない人	3,700世帯(見込み)	50,000千円
【事務費】	37,798千円	
【合計】	921,798千円	

## 5. 今後のスケジュール

- ・ 5月24日 6月議会補正予算提案
- ・ 6月上旬 システム導入契約
- ・ 8月上旬 確認書発送
- ・ 8月1日 市広報誌、市HP掲載
- ・ 8月上旬から 支給開始(順次)

**三田市議会6月定例会(第376回)に提案する補正予算案【ピックアップ事業②】  
 自動運転バス実証調査事業について**

**1. 概要**

政府目標として自動運転サービスを令和7年度までに50カ所以上、令和9年度までに100カ所以上での実現を掲げており、本市においても路線バスの自動運転化を目指し、自動運転バスの実証実験を実施します。実証実験は令和2年度、4年度、5年度と継続しており、令和6年度も国補助金を活用した事業実施を想定しています。

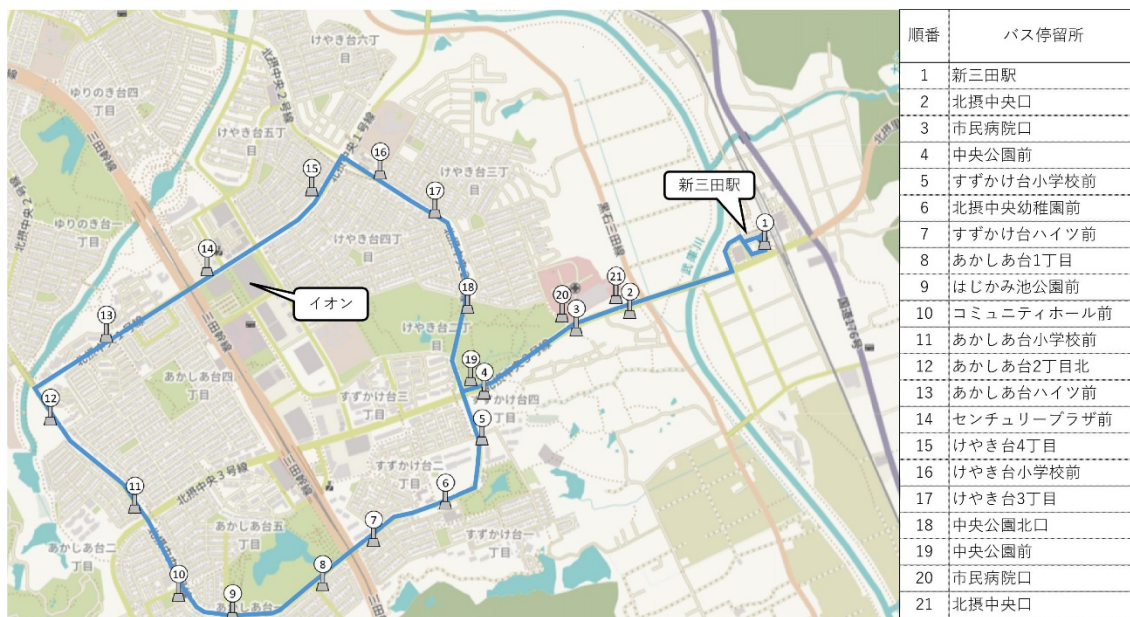
**2. 目的**

本市では人口減少や急激な高齢化が進展することで、利用者の減少による「路線バスのサービス低下」「地域商業エリアの魅力喪失」、また交通事業者において「運転手の担い手不足」が問題となっています。

自動運転技術を路線バスに導入することにより、問題の解消を図り「市内交通ネットワークの持続性」を向上させ、「誰もが気軽に移動できるまち」を目指します。

**3. 自動運転バス運行内容（予定）**

- (1) 実施主体 三田市
- (2) 運行主体 神姫バス株式会社
- (3) 運行期間 11～12月
- (4) 運行ルート JR 新三田駅を起終点とした循環ルート



(5) 事業費 118,700 千円 ・自動運転バス実証運行等業務委託料 117,100 千円  
 ・その他（協議会開催経費等）1,600 千円

**4. 今後のスケジュール（予定）**

- ・6月以降 国補助金採否決定（採択の場合）
- ・11～12月 自動運転バス運行

※本事業は国補助金（自動運転社会実装推進事業）の活用を想定しているため、採択結果により、自動運転バスの運行内容及びスケジュール等について変更する可能性があります。

三田市議会6月定例会(第376回)に提案する補正予算案【ピックアップ事業③】  
 不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業について

三田市では令和5年度より、「あすなる e-school」として簡易的なメタバース空間においてチャット形式のコミュニケーションによる相談活動等の支援を行ってきており、対象となった生徒の中には学校復帰を果たすなど、一定の成果も出て来ています。一方で、支援者との即応的なやりとりに課題が生じるなど、オンライン上での関係づくりの難しさを痛感したことから、誰でも、いつでも気軽に相談でき、即座にアドバイスが得られるなどの支援体制が必要と仮定し、大阪教育大学と共同研究契約を結び、生成 AI を活用した相談機能について研究を行ってきた結果、コミュニケーションにあたってより実用的な機能を持つ AI 支援によるチャット形式の相談機能を有するプロトタイプを完成しました。

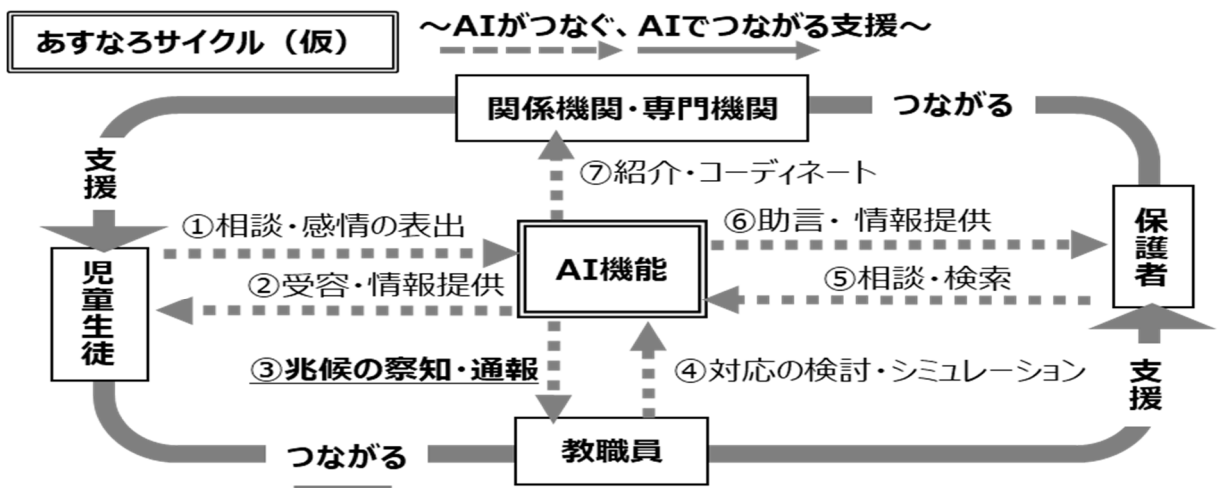
完成した相談機能を実際に運用するためには、生成 AI によるディープラーニングを継続するとともに、使用する生徒のニーズに合わせたシステム全体のデザインを考える必要があります。この度、国の不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業として県が受託する「アウトリーチ支援事業」を活用し、AI 支援によるチャット形式の相談機能を引き続き研究し、不登校児童生徒が気軽に相談したり、自分の思いを表現したりする場の開発・検証を行います。

【事業内容】

〈あすなるサイクル（仮）～AI機能による相談の場の確保～〉（三田市）

AI チャットなどの対話機能を活用することにより、人と接することを苦手とする不登校児童生徒や、相談しにくい状況にある児童生徒でも、気軽に相談したり自分の思いを表現したりする場を保障できるシステムの開発・検証を行います。

※イメージ図



- 連続する支援の方向性
- ◎あすなる SSW や各校の SC、SSW、教職員からのアウトリーチ支援へ
  - ◎教育支援センター「三田市あすなる教室」及び「あすなる e-school」での直接支援へ
  - ◎各校の「校内サポートルーム」での直接支援へ
  - ◎その他のアウトリーチ支援、及び直接的な支援へ

児童生徒の社会的自立に向けた支援へ

### ～AI導入に期待される効果～

- ★ AI相談は児童生徒や保護者が、いつでも気軽に利用できます。
- ★ AIを用いた相談では、匿名性が保たれます。
- ★ AIはプログラムされた範囲で一貫性のあるアドバイスができます。
- ★ AIは最新の情報を随時取り入れることができ、知識をアップデートすることが可能です。これにより最新の教育情報や心理学の知識を元にしたアドバイスが提供できます。
- ★ AIは大量のデータを迅速に処理し、要因や傾向を分析する能力があります。これにより個別対応のアドバイスを提供できます。